

地域企業紹介 39

アイシंक株式会社



## プロジェクトマネジメントで 社会に貢献する

プロジェクトマネジメントに関わるコンサルティング、研修、PMP試験対策講座などを行うアイシंक株式会社の伊藤健太郎社長を西新宿にある本社事務所に訪ねました。アイシंक社はさがみはら産業創造センターが2000年にオープンさせたSIC-1に最初に入居した企業の一社で事業の拡大とともにポストインキュベータであるSIC-2に移転し、その後、現在の地に本社を移している。同社から分社した有限会社G+thinkは今もSIC-2に入居し、セミナーの教材制作や受講者のフォローアップなどの業務を担っている。

伊藤さんは九州の福岡市に生まれ、地元の高校を経て、文系で就職に苦労した父親の助言もあり九州大学工学部に進学、大学院を修了し日本鋼管(現JFEエンジニアリング)に1986年に就職する。日本鋼管では横浜市鶴見にあった事業所で船舶の大型ディーゼルエンジン製造に携わる。本当は大規模工場やプラント建設に関わるエンジニアリング部門を希望したが「入社試験の時にエンジニアリングを`エンジ`と省略して伝えたためエンジン製造に配属されてしまいました」と伊藤さんは当時を思い出して苦笑する。職場で最年少だった伊藤さんは父親のような年齢の現場のベテランを相手に何でもやったそうだ。会社の寮があった横浜の希望ヶ丘から始発電車に飛び乗り朝6時から夜の11時頃まで働きつめの日々だった。この部署で3年半を過ごすことになる。しかし、エンジニアリングの仕事がしたいとの思いは捨てがたくエンジニアリングに不可欠なプロジェクトマネジメントを学ぶため退職し、留学しようかとも考えたそうだ。そんな頃、総合エンジニアリング事業部環境エンジニアリング部へ移動することになる。最初の大きな仕事は神奈川県大和市の清掃工場の建設。その次が台湾台中市に建設される清掃工場。これは日本鋼管の環境プラント事業部初の海外プロジェクトだったそうだ。伊藤さん35歳の時である。伊藤さんは清掃工場の試運転を担当し、その後のメンテナンスも任されて計4年間このプロジェクトに携わっている。このプロジェクトで出会った一人のエンジニアが伊藤さんの人生を変えることになる。

(2面につづく)

アイシंक株式会社

代表取締役 伊藤 健太郎 (いとう けんたろう)

東京都新宿区西新宿1-25-1 新宿センタービル33階

従業員数：25名 資本金：5,000万円 売上高：4億円

事業内容：プロジェクト成功に向けたトータルサービス

台中市の清掃工場は日本鋼管が建設し、フランスのVivendi社がオペレーションを担当することになっていた。準備のためフランスからやってきたVivendi社のスタッフは伊藤さんと同年代のエンジニアのマルサイスさんたった一人。新聞広告を使ってマネージャーを採用することから始めたそうだ。日本企業なら本社から何名か派遣させ、現地スタッフの採用も人材紹介企業を使ってやるだろう。マルサイスさんは一人で台湾にやってきて、人を雇い、組織を作り、清掃工場を稼働させるまでをプロジェクトマネージメントの手法を使って、やり遂げていった。伊藤さんはそれを間近に見て、驚くとともに「プロジェクトを管理する能力や手法を身につけないと世界で戦えない」と強く思ったそうだ。

そして、2000年3月に日本鋼管を退職し、4月にSIC-1に入居、5月に会社を設立している。SIC-1が建設中だったため建設現場事務所で行った入居面接を伊藤さんは鮮明に覚えているそうだ。

会社設立当初は教材開発に追われていたし、プロジェクトマネージメントそれ自体が社会や企業に浸透していなかったこともあって小さな仕事の依頼はあったが本格的な仕事がなかなか取れない状況が続いていた。そんな中、最初に受注したのが株式会社日立システムアンドサービスの仕事。会社設立から1年3か月を過ぎた2001年8月のことだ。テキストも最初はすべて手作りだったので糊付けした背表紙が講座中にバラバラになるといったアクシデントもあったという。「寛容な研修担当者に助けられて何とか

切り抜けました」と伊藤さんは当時を懐かしむ。この仕事のきっかけはSIC主催のクリスマスパーティーで同時期にSIC-1に入居していた日立システムアンドサービスOBの荻野さんと出会ったこと。荻野さんが日立システムアンドサービスに伊藤さんを紹介してくれたそうだ。この日立システムアンドサービスの実績を契機に日立製作所や富士通といった大手企業の研修を受注することになる。これらの企業は今でも続くアイシンクの大切なお客様だ。

アイシンクはプロジェクトマネージメントスキルに関する研修やコンサルティング、PMP試験対策講座、ストレスマネージメントなど心理学をベースとしたヒューマンスキル系の研修など日々事業を拡大している。IT業界中心だった顧客もJAXAなどの公的機関、発電、製薬、電機・通信と幅が広がっている。PMP試験対策講座受講者の平均合格率も9割超と抜群の成績を上げている。さらに、今年8月には「プロジェクト成功診断装置」のシステムも開発し、関係する特許も2つ取得するなど先進的な取り組みが続いている。アイシンクは我が国のプロジェクトマネージメントを語る時、欠かすことのできない存在にまで成長した。同社の創業期に関わったSICスタッフの一人として誇らしいし、とてもうれしい。

今後はプロジェクトマネージメントを活動の主軸にしつつも色々な事に挑戦してみたいと伊藤さんは考えている。例えば学校を作ってみたいし、ロボットにも挑戦してみたい。現在55才、伊藤さんの挑戦はこれからも続く。

# リチウム蓄電池用次世代セパレータの実用化に向けて

## 株式会社スリーダム

リチウム蓄電池(リチウムイオン電池)用次世代セパレータの実用化に向けた量産技術開発を行っている株式会社スリーダム(代表取締役社長 黒田 幸蔵氏)をご紹介します。社名は開発中のスリーダムセパレータ(3次元的に規則正しい空孔構造を持つセパレータ)※1に由来しています。

スリーダムセパレータの特徴はリチウム蓄電池の高エネルギー密度化と高い安全性を実現しているところです。セパレータは、電池の正極と負極の間を電氣的、物理的に隔離すると同時に、充放電をつかさどるリチウムイオンの移動をスムーズにする多孔性の薄膜で、電池の基幹部材の一つです。現在実用化されているセパレータは、PE(ポリエチレン)やPP(ポリプロピレン)樹脂を基材としていますが、スリーダム

セパレータは耐熱性の高いポリイミド樹脂を基材とし、特殊な構造をしています。空孔率は70%以上で保液性も高く、レート特性やサイクル寿命の向上も期待できるものです。

スリーダムセパレータは首都大学東京の金村教授をリーダーとする研究グループによって基礎開発がなされ、スリーダム社がその実用化を一手に担っています。首都大学東京による研究成果を実用化するために、大学とのアクセス性が良いSICを選び入居されています。

スリーダムセパレータは、やがてグローバルスタンダードになり得る製品で、そのための実用化を着実に進めていかなくてはならず、セパレータ開発技術に加えて、セパレータに深く関係する電解液、活物質等の周辺技術力も



金属リチウム二次電池 (プロトタイプ) Rechargeable Lithium Metallic Battery (prototype)

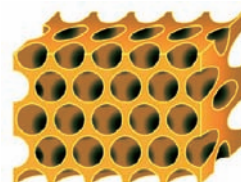


Image Diagram Battery (prototype)

高めていくことにより、地球レベルでの豊かな生活に貢献して行くことが出来る企業を目指したいと黒田社長は話されました。

※1 3-Dimensionally Ordered Macro-porous Separator

株式会社スリーダム  
SIC-1 212号室  
URL: <http://www.3dom.co.jp/>



# Hi friends! - Globalization in SIC -

ようこそ!世界の国からSICへ

(第3回)

グローバル化の波は世界中に及んでいます。日本企業にあっても海外進出はもちろんのこと社内公用語を英語にしたり、外国人を採用することも珍しくありません。SICに入居する企業にも外国の方々がたくさん働いています。このコーナーでは6回にわたり「Hi friends! Globalization in SIC」と題し、訪日されSICで活躍する方々を紹介します。

中華人民共和国  
from People's Republic of China

**陳 家欽 (Chen Jia Qin)** 株式会社共立



## 陳さんの歴史を教えてください。

中国福建省福州市に生まれ、地元の高校を卒業後、2008年、千葉県市川市の東進ランゲージスクールで日本語を勉強しました。亜細亜大学経営学部に入學し、ゼミでは経営戦略を学びました。

## 日本に留学するきっかけは?

福建省出身の多くの方が世界中で仕事をしています。また世界中に留学生がいます。以前、父親が貿易を手掛けていて日本でも4年間仕事をしていました。従姉妹はオーストラリアや日本に留学しています。そんな周りの環境の影響もあり海外留学を希望していました。アジア圏ではない国も考えましたが、アルバイトが許されない国もあり、また距離や生活の事を考えて日本を選びました。

日本では、文部科学省外国人留学生学習奨励費給付制度の奨学金やアルバイトをしながら大学へ行きました。

## 日本と中国の良いところや違いを聞かせてください。

日本の電車や道はとても綺麗です。カバンを直接床に置いたりすることは中国では出来ません。靴もすぐ汚れてしまいます。そして、日本人はやさしいです。中国では貧富の差が大きい為、詐欺が多くみんな警戒しています。他の地域から多くの方が来るようになるまでは、日本と同じように安全で心配する事は少なかったように思いますが、中国のいいところは、ごく普通の暮らしで満足できます。それは、家族や友人と会いたい時に会い、笑いたい時に笑える自由があるからです。それが幸せ(心の満足)なのです。旧正月には家族親戚が大勢集まりとても賑やかです。日本では、周りに気を使い静かにしなければならない事が多いと感じました。

## 好きな食べ物と趣味はなんですか?

韓国料理が好きです。キムチや参鶏湯、チャンジャ等辛い料理や濃い味が好きです。日本料理では寿司が好きです。特にサーモンが好きです。日本に来たときはラーメンも寿司もあまり食べられませんでした。3年目ぐらいから好きになってきました。

趣味は、グルメ本を買って食べ歩く事。俺のイタリアン、俺のフレ

ンチ、美登利寿司、近畿大学水産研究所のまぐろ等、気になるお店へ行っています。八王子や相模原の食べ歩きの本も買って色々なお店に行っていますが、やはり、韓国料理が一番好きです。

## 共立社入社の経緯を教えてください。

大学4年の時、西武信用金庫主催の「ビジネスフェア from TAMA」が亜細亜大学で開催され、中小企業と外国人留学生とのマッチングが行われました。その時、(株)共立を含めた数社と話をしました。環境機器を扱う(株)共立に興味を持ち、メールで連絡を入れたところ、社長とお会いすることができ、数日後に入社が決まりました。

## 共立社ではどんな仕事をしていますか?

まだ入社して1年半ですが、環境事業部の海外営業で台湾、中国、香港を担当しています。ベテランの中村さんは、タイ、ドイツ等を担当していて、色々なことをやさしく教えてくれます。まだまだ分からない事はたくさんありますが、現場へ行き、現場を知ることで少しずつでも知識を増やしていきたいと思います。特に機器関係は専門知識・専門用語が難しいうえに何でもしなければならぬので毎日が勉強です。

## 将来の夢は?

将来、自分の会社を作りたいと思います。まだ、何の会社とどのような具体的なものはありませんが、デザインが面白いものなどを揃えた雑貨店などいいですね。

## 好きな言葉は?

熟語や格言ではありませんが、悲しい時や困った時は、「生きているから大丈夫!」と自分に言い聞かせています。

株式会社共立

代表取締役 上野賢美

社員: 20名 創業: 2006年 年商: 16億円 (2014年)

業務: 各種真空装置、環境関連装置の開発・設計・製造・販売・メンテナンス

## 海鮮居酒屋 魚男 (フィッシャーマン)

橋本駅北口から徒歩5分のところにある居酒屋「魚男」にスタッフ3人で行ってきました。「魚男」と書かれた大きな提灯が目印です。

一階が混み合っていたので、螺旋階段を潜って(くぐって)二階の座敷に案内されました。ここの売りは新鮮なお刺身です。モダンな織部の皿に盛られたお刺身は美術品のよう。カツオ、ぼたんエビ、ひらめ、サンマ、ぶり、金目ダイ、つぶ貝。どれも美味しい。お薦めです。

相模原市緑区橋本6-26-3 電話 042-810-8372 営業時間 17:00~24:00 定休日 日曜日





第33回南西フォーラム

今こそ航空・宇宙産業へ！

～実例から中小モノづくり企業の参入を考える～

航空機産業や宇宙分野では今後も世界での市場拡大が見込まれ、国内中小企業との協業が期待されている。参入の裾野は広い。今回は、高い障壁ながらも強い意志を持って航空宇宙産業へ参入した中小企業の実例から新規参入を考える。

講師:

「共同工場で航空機ジェットエンジン部品を一貫生産」

J A S P A 株式会社 代表取締役 阿部 和幸 氏

「高い精密加工技術で宇宙に挑むー研究開発型町工場ー」

株式会社由紀精密 代表取締役 大坪 正人 氏

「長年の夢 航空産業に参入ー無人飛行機に挑むー」

株式会社コバヤシ精密工業 代表取締役 小林 昌純 氏

開催日時:平成27年12月8日(火)16時00分-20時00分(受付15:30～)

会場:サン・エールさがみはら ホール ※交流会は第一研修室

定員:150名 参加費:無料

お申し込み:SIC-1 担当 山本・磯田まで

## 2015.11 SIC EVENT CALENDER イベントカレンダー

|       |                                           |                              |
|-------|-------------------------------------------|------------------------------|
| 2015年 | 11月12日(木)                                 | SICミニセミナー【財務】編               |
|       | 11月13日(金)・20日(金)、12月11日(金)                |                              |
|       |                                           | 自動化・省人化支援セミナー(10月期)(受付終了)    |
|       | 11月25日(水)～27日(金)                          | INCHEM TOKYO2015 水素・エネルギー技術展 |
|       | 12月8日(火)                                  | 「今こそ航空・宇宙産業へ」第33回南西フォーラム     |
|       | 12月15日(火)                                 | 南西フォーラム 3Dプリンター分科会           |
|       | 12月17日(木)・18日(金)                          | ロボット操作教育(基礎コース)第2期(受付終了)     |
| 2016年 | 1月15日(金)、1月29日(金)、2月19日(金)・26日(金)、3月4日(金) | の全5回                         |
|       |                                           | 自動化・省人化支援セミナー(1月期)           |
|       | 1月19日(火)                                  | SICミニセミナー【デザイン】編             |



入居企業を募集してます。

SIC空室情報 (2015年10月30日 現在)

| 部屋    | 空室数         | 賃料/月額<br>(共益費・消費税別) |
|-------|-------------|---------------------|
| SIC-1 | 空室はありません。   | -                   |
| SIC-2 | オフィス(50.2㎡) | 1 149,600円          |
| SIC-3 | 空室はありません    | -                   |



## The HINT26 SICミニセミナー

「資金繰り(表)…理解してますか?」 財務編  
～資金繰り表の作成と活用のための基礎知識～

「売上も利益も順調に伸びつつあるのに、なかなかお金がうまく回っていかない…」というご経験はありませんか?

こうした事態が発生する原因の多くは、入金と出金のタイミングがズレてしまうことによって資金不足が生じるためです。この資金不足を事前に察知して、これらに的確に対応(対策)していくことは、企業経営にとって非常に重要なことです。

このセミナーでは、実際に資金繰り表を作成しながら、資金繰り(表)の考え方(見方)やその活用方法について基本的な事項を整理します。



講師:天野俊裕税理士事務所 代表 天野 俊裕 氏  
開催日時:平成27年11月12日(木)17:30-19:00

※終了後希望者に個別相談会を実施(19:00～)

会場:SIC-2会議室 参加費:無料

お申し込み:SIC-1担当 飯山・五島まで

次回予告:平成28年1月19日(火) SICミニセミナー【デザイン】編



さがみはらロボット導入支援センターの活動について  
自動化・省人化支援セミナー

10月期コースは、10月19日から好評をいただきながら開講中です。1月期コースについては、平成28年1月15日(金)、1月29日(金)、2月19日(金)・26日(金)、3月4日(金)の全5回を予定しています。詳細が決まり次第、ホームページでご案内します。

ロボット操作教育(基礎コース)

第1期は、10月19日・20日の2日間で実施しました。第2期(12月17日(木)・18日(金)の2日間)は、募集定員に達しましたので受付を終了しました。第3期については2月初旬を、第4期は3月初旬の開講を予定しています。詳細が決まり次第、ホームページでご案内します。

お問い合わせ先: 担当 統括コーディネーター 宮川

E-mail: robot-center@sic-sagamihara.jp

詳しくは、SICホームページをご覧ください。

<http://www.sic-sagamihara.jp>

編集後記

SICは、年末年始のお休みが12月29日(火)から1月3日(日)までとなります。皆さま、もう年末年始のご準備を始めていらっしゃいますか? SICでは、さがみはらロボット導入支援センターの開所に伴うロボット操作教育(基礎コース)や自動化・省人化支援セミナー、南西フォーラム、SICミニセミナーなど盛り沢山にご用意しています。スタッフ一同、皆様のご参加をお待ちしています。それでは、良いお年をお迎えください。



(株)さがみはら産業創造センター(SIC)  
〒252-0131 相模原市緑区西橋本5-4-21  
電話:042-770-9119 FAX:042-770-9077  
E-mail: koho@sic-sagamihara.jp

ご意見・ご感想をお待ちしています。

ウェブサイト <http://www.sic-sagamihara.jp/>